



ごみ収集車から火災が発生

昨年10月、野田村内で「燃えないごみ」を収集していたごみ収集車から、火災が発生しました。火災の原因は、可燃性ガスが残ったままのスプレー缶がごみに出され、ごみ収集車の荷箱内で摩擦により引火したものと考えられます。

今回は迅速な初期消火で火は消し止められましたが、建物など周辺を巻き込んだ重大な事故になる恐れがありました。スプレー缶やカセットボンベなどをごみに出す際は必ず中身を空にし、缶には穴をあけて出すようお願いします。

スプレー缶・ガスボンベの出し方



必ず穴をあけてから、不燃ごみとして出してください



ごみ処理施設では、きちんと分別されないままのごみを処理することにより、設備が故障することがあります。

故障すると膨大な補修費が必要となり、点検や工事のためごみ処理ができなくなる場合がありますので、分別の徹底と適正な出し方にご協力をお願いします。

放射性物質濃度の測定結果

久慈地区し尿処理場

(単位：ベクレル/kg)

対象試料	採取日	測定項目		
		セシウム134	セシウム137	合計
脱水汚泥	7月21日	検出下限値以下	検出下限値以下	検出下限値以下
脱水汚泥	8月29日	検出下限値以下	検出下限値以下	検出下限値以下

※基準値：セシウム合計200ベクレル/kg以下

脱水汚泥とは…し尿を脱水した後に残った汚泥

測定結果については、久慈広域連合ホームページにも掲載しています。

久慈広域連合



久慈地区ごみ焼却場

(単位：ベクレル/kg)

対象試料	採取日	測定項目		
		セシウム134	セシウム137	合計
主灰	6月30日	11	20	31
飛灰		267	337	604
主灰	7月29日	16	20	36
飛灰		220	230	450
主灰	8月25日	12	15	27
飛灰		140	150	290
主灰	9月13日	12	17	29
飛灰		160	190	350
主灰	10月20日	18	23	41
飛灰		160	200	360
主灰	11月17日	検出下限値以下	12	12
飛灰		160	200	360

※基準値：セシウム合計8,000ベクレル/kg以下

主灰とは…焼却炉の底などから回収される燃えがら

飛灰とは…集塵装置で集められたばいじん

基準値を大きく下回る
久慈広域連合では、久慈地区ごみ焼却場と久慈地区し尿処理場で放射性物質濃度の測定を行っています。測定結果は、いずれも国で定める基準を大きく下回っています。

介護保険料減免申請はお済みですか

久慈広域連合では、東日本大震災で被災された65歳以上の方の介護保険料の減免を行っています。減免を受ける場合は申請手続きが必要となりますので、平成24年2月末までに久慈広域連合またはお住まいの市町村の介護保険担当課に申請してください。

減免の対象となる方

- お住まいの住宅に半壊以上の損害を受けた方
- 生計を維持している方が死亡、行方不明または障害を受けた方
- 被災による失業・廃業などにより、収入が大幅に減少した方
(平成22年の収入の状況により減免とならない場合があります)
- 原子力発電所事故による避難世帯の方

手続きに必要なもの

- ・り災証明や失業証明など、被害の程度がわかるもの
- ・印鑑
- ・振込先口座のわかるもの

介護サービス利用料の減免も実施しています

平成23年3月利用分からの介護サービス利用料についても減免を行っています。

また、お支払い済みの利用料についても手続きにより減免(支給)が受けられますので、お気軽にお問い合わせください。